

★乗っ込み到来を
感じさせる黒みを
帯びた2キロ級



●早朝に食いが立った久
里浜沖では海面から30
メートルのタナを狙った



▲時に備え一定のペースで
手返しを



▲レギュラーサイズは800グ
ラム前後
▼小ぶりでも身に厚みがある



◀週末は満船の盛
況ぶり、予約はお
早めに
▼この時期は脂が
乗った個体が多い

三浦半島剣崎松輪港出船 撮影●鈴木良和

好調続く三浦半島東部エリア 乗っ込み本番カウントダウン



▲イナダも上がった



▲釣りが食べごろサイズの1キロ級



▲仕掛けはハリス3〜4号8
〜10メートルが基準。コマセ
カゴはLサイズでオモリ80号

コマセダイの1級ポイント、剣崎沖を擁する三浦半島剣崎松輪港出船のマダイ船が好調だ。
周年のマダイ乗合を看板に掲げる成銀丸を取材した3月中旬は、ここところ模様がいい下浦、久里浜沖の水深50〜60メートル前後を流し、600〜800グラム級主体に1〜2キロ級を交えてトップ3枚が6名とまずまず。
船長によれば連日反応はバッチリ出ているとのこと、中々大ダイの荒食いが始まるのも時間の問題。関東でサクラが見ごろを迎えるころ、剣崎沖を始めた三浦半島東部エリアで乗っ込みマダイが満開になるはずだ。
(詳細は54ページ参照)



▲大ダイに備えてドラッグ調整を
忘れずに



●三浦半島剣崎松輪港・成銀丸
山田 真成船長